

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

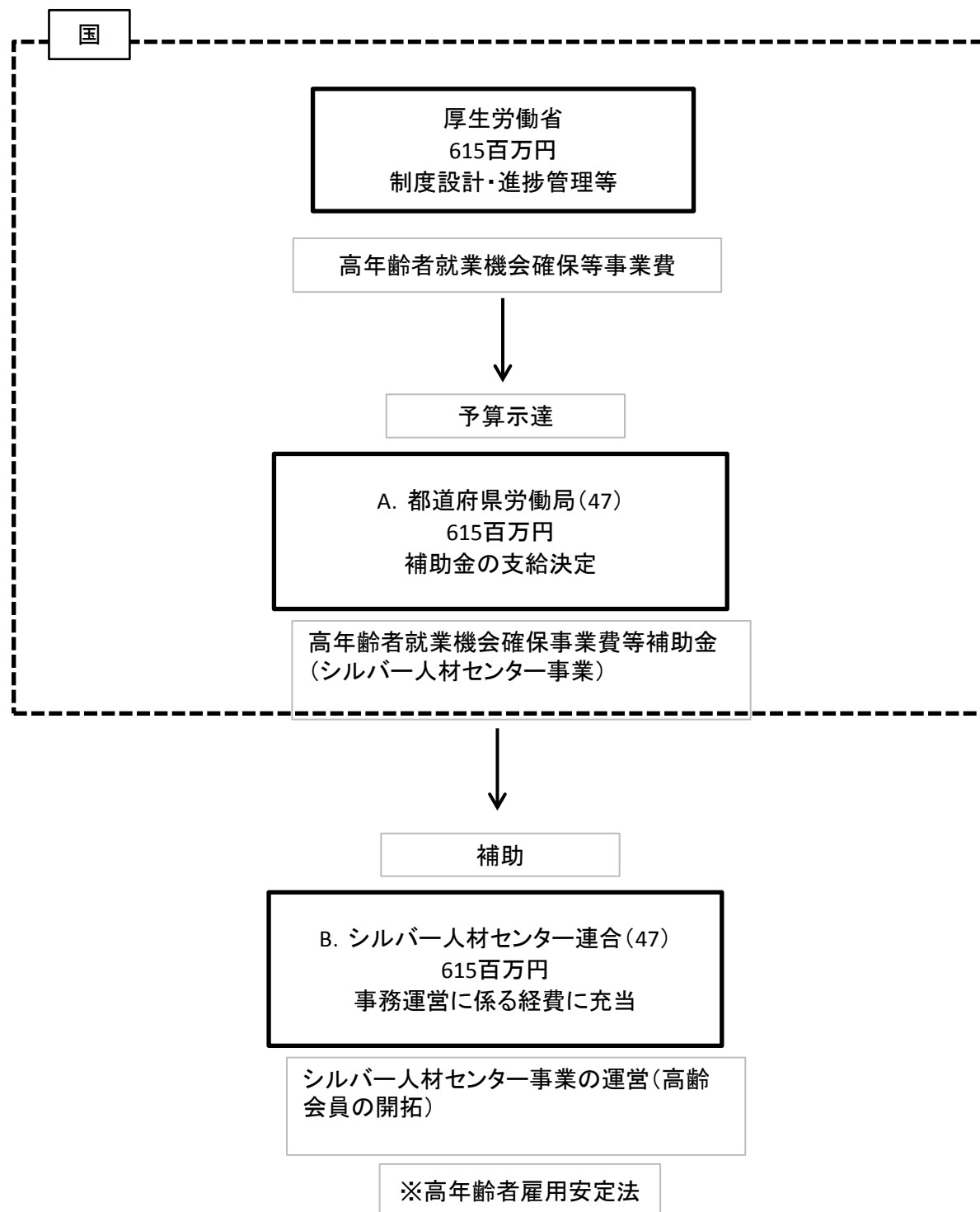
事業名	生涯現役社会実現に向けての「働く」魅力プロジェクト(仮称)			担当部局庁	職業安定局雇用開発部		作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	高齢者雇用対策課		高齢者雇用対策課長 福士 亘		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	高齢者等雇用の安定等に関する法律第40条から第48条			関係する計画、通知等	高齢者等職業安定基本方針 高齢者就業機会確保事業の実施について				
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高齢化に伴う生産年齢人口の減少により企業の人手不足や地域社会の担い手不足が問題となるとともに、高齢者の増加に伴い、医療費等の社会保障費の増加が問題となっている。本事業は、生きがいをもってシルバー人材センターで働く高齢者を増加させ、以上の問題を解決することを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	本事業は高齢者にシルバー人材センターで働く魅力を伝え、高齢者のシルバー人材センターの活用を推進するため、①シルバー人材センターでの体験就業を実施、②市区町村と連携した高齢者の就業への誘導、③企業訪問等による退職予定者への周知 等を行う。								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	615		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	0	0	0	0	615			
	執行額	-	-	-	-				
執行率(%)	-	-	-	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	会員の80%以上に就業機会を提供する。	就業率80%以上	成果実績	%	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	80
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	会員数	活動実績	人	-	-	-	-		
		当初見込み	人	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	就業延人員数	活動実績	人日	-	-	-	-		
		当初見込み	人日	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X: 予算執行額(単位:円)/Y: 就業延人員数(単位:人日)	単位当たりコスト	人日	-	-	-	-		
計算式		円/人日	-	-	-	-			
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	高齢者就業機会確保事業費等補助金	0	615	「新しい日本のための優先課題推進枠」615					
	計	0	615						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	労働者等の特性に応じた雇用の安定・促進を図ること								
		施策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること								
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
				実績値	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
		本事業は、高齢者にシルバー人材センターで働く魅力を伝え、高齢者のシルバー人材センターの活用により高齢者の就業を促進する事業であり、高齢者の雇用の安定・促進に寄与するものである。									
		改革項目 （第一階層） （第二階層）	分野:	-	-						
			KPI （第一階層）			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-	-
	目標値		-	-	-	-	-	-	-		
KPI （第二階層）				単位	- 年度	27年度	28年度	- 年度	- 年度		
	成果実績		-	-	-	-	-	-	-		
	目標値		-	-	-	-	-	-	-		
	達成度		%	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	高齢化が進む中で、高齢者の就業機会を増やしていくことは重要である。本事業については、働く魅力を高齢者に伝えることにより高齢者の就業を促進していくものであり、高齢化という問題を踏まえた社会のニーズを反映しているものである。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	高齢化が進展する中で、高齢者の生きがいの充実、健康の維持促進等を図ることは、国が実施する事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	高齢者の増加と労働力人口の減少が見込まれる中、働く意欲のある高齢者を掘り起こし、人手不足で悩む企業の問題解消を図ることは喫緊の課題であり、優先して実施する必要がある。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	29年度新規事業であり、実績を踏まえながら効率的かつ効果的な実施に努める。				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

